

日本気象学会 沖縄支部だより

発行：(公社) 日本気象学会沖縄支部
〒900-8517 那覇市樋川 1-15-15
那覇第一地方合同庁舎
沖縄気象台地域防災推進課内

2024 年度日本気象学会沖縄支部総会報告

令和 6 年 6 月 28 日（金）、沖縄気象台 8 階の第二会議室において、2024 年度日本気象学会沖縄支部総会を開催したので概要を報告します。今年度も新型コロナウイルス感染拡大防止の対策を取りながら対面とオンラインを合わせたハイブリッド形式での開催となりました。

1 総会概要

沖縄支部長の太原沖縄気象台長より、対面を含めたハイブリッドでの総会となり会員の活発な意見交換により当支部の課題や事業に対する今後の計画を進めていくよう挨拶がありました。その後議事次第に沿い議案を提案し、全ての議案において参加者（委任状含む）の承認が得られました。

各提案に対する詳細は下記のとおりです。

2 議事の概要

議長（糸村幹事）の選出後、当総会の成立要件※¹を確認し、引き続き、事務局から提出した下記 5 議案について討議・意見交換を行いました。

※¹ 規約第 14 条：総会は、会員現在総数（現在 54 名）の 5 分の 1（同 11 名）以上の出席がなければ成立しない。ただし、総会に出席できない会員で、当該議事につき他の出席会員に評決を委任した者及び書面によって決議に参加した者は出席とみなす。

…出席（会場 12 名、オンライン 2 名）、委任状 14 名、議決権行使票 2 名の計 30 名

〔1号議案〕沖縄支部の現状

会員数の推移及び本部による支部交付金見直しについて説明があり、交付金については事業が活発化すれば本部へ交付金要望を行う提案がありました。

〔2号議案〕事業

2023 年度事業報告と 2024 年度事業計画の提案

があり、昨年度は新型コロナによる制限も明けたことから各事業を対面で実施した旨、今年度も昨年度と同様に事業を行いたいと説明がありました。

〔3号議案〕決算・予算

2023 年度事業支出では、4 年ぶりに対面での事業実施が多く増額となった報告がある一方、2024 年度予算案は、引き続き対面による事業実施を見込んで計上したとの説明がありました。2023 年度会計については、監事から適正に処理されている旨の監査報告がありました。

〔4号議案〕2024 年度役員体制

今年度は、2 年毎の役員更新時期となり、立候補者の確認及び支部会員による信任投票の結果、第 27 期役員が下記のとおり決定いたしました。

第 27 期（2024～2025 年度）役員名簿

理事（支部長）	太原 芳彦※	沖縄気象台
理事	新保 明彦※	沖縄気象台
同	萱場 互起※	沖縄気象台
同	新垣 秀治※	沖縄気象台
同	山田 広幸	琉球大学
同	久木 幸治	琉球大学
同	島尻 勝※	気象予報士会
監事（会計監査）	黒島 安規※	沖縄気象台
同	阿波連 正※	沖縄気象台
幹事（事務局）	糸村 昌史	沖縄気象台

※下線は新任者

【5号議案】その他（意見交換）

昨年度は新型コロナ感染対策に留意しつつも4年ぶりに対面で事業を実施することができたこと、今年度は8月の子ども気象学士教室など関係機関と調整して昨年度と同様に事業を進めていることを事務局から説明した。

また、学会員が減少する中で、研究活動も低調になることが懸念され、人材育成の課題についても意見があった。

さらに、気象庁において支部事務局業務を兼業として認められなくなったことについて、来年度以降の支部事務局の運営方法について検討していくこととなった。

子ども気象学士教室 盛況に開催！

令和6年8月5日から8月7日にかけて、沖縄気象台で「子ども気象学士教室」を実施した。「子ども気象学士教室」は2014年から始めて今回が8回目（2020年から2022年はコロナ禍で中止）となり、今回は過去最多となる小学生26名（+保護者）の参加を得、盛況に行われた。

最初に、太原沖縄支部長が開催の挨拶を行い、その後講演が行われた。今回は、沖縄気象台のほか気象予報士会（沖縄県内のテレビ気象キャスター3人を含む）とFMとよみが講師を担当した。講演テーマは、「南極ってどんなところ？」「飛行機と風の関係」「いろいろなことがおこる空の不思議」など小学生の興味のある話題を加えたほか、防災の観点から「知ることで命を守る」などの計9つとした。講演は、生徒から質問が何度もあり活発に行われた。

講演に加え、初日には気象台の観測施設見学、2日目は子ども気象学士の認定試験も行った。最終日の3日目は、「気象実験」を実施した。その後、新保沖縄支部理事が1人1人に「こども気象学士の認定証」を手渡したあと、閉会の挨拶を行い終了した。

最後に、時間割の作成や講師への依頼を中心的に行われた島尻沖縄支部理事、会場準備から当日を含め対応頂いた共催の日本気象予報士会沖縄支部、沖縄気象台及び株式会社FMとよみ、後援いただいた日本気象協会に感謝申し上げる。なお、今回の開催の様子はテレビや新聞にとりあげられ、沖縄支部の普及啓発に関する活動が広く周知されたことも報告したい。



（キャスターのお話し）



（露場見学）



（雲を作る実験）



（雨粒浮遊実験）



（認定証授与）



（教室終了）

2024年度
子ども気象学士教室
気象予報士から学ぶお天気のこと！
今年の夏、君は**子ども気象学士**になれる！
留め書きで「子ども気象学士の認定証」と記念品がもらえます！

「台風」で風が強くなるのはなぜ？
「地震」はなぜ起こるの？
お天気キャスターにあえる！（気象予報士もくるん！）

【募集要項】
期間：令和6年8月5日（月）～8月7日（水）
場所：沖縄気象台（那覇市樋川）
時間：午前9:30～正午頃まで
対象：小学校4～6年生（保護者同伴、兄弟可）
定員：先着20名（現地集合で3日間連続で参加できる方）
申込期間：6月26日（水）～7月26日（金）
※申込受付は先着順とし、定員になり次第、締め切ります。
参加費：無料

【共催】 日本気象学会沖縄支部 日本気象予報士会沖縄支部
沖縄気象台 株式会社FMとよみ
【後援】 日本気象協会

夏休みの自由研究に
最適だよ！！

【申込方法】
子ども気象学士教室LINEより申込→

【詳細】
沖縄気象台地域防災推進課 担当：糸村
TEL: 833-2186

誕生20周年 除けろん

（募集案内ポスター）

事務局からのお知らせ

■「沖縄支部だより」の原稿募集

事務局では「沖縄支部だより」に掲載する会員からの原稿を募集しています。

沖縄支部会員の活動報告、気象知識の普及活動の状況、沖縄の気象に関する事例解析・統計調査など情報交換に役立つ原稿であればどのようなものでも結構ですので支部事務局までご投稿ください。会員各位の積極的な投稿をお待ちしています。

■住所変更届のお願い

転居や転勤により登録情報に変更が生じた際は、次の方法で手続きを行ってください。

○ご本人による手続き（オンライン申請）
気象学会本部ページの「入会案内」ページ
（以下 URL）にて登録情報の変更を行います。
<https://www.metsoc.jp/membership-2>

【方法】気象学会本部ページの「入会案内」ページにおいて、「[会員登録情報の変更](#)」画面に入り、必要事項を記入の上、送信することで手続きは完了します。ご不明な点がございましたら事務局までお尋ねください。

■メールアドレス登録のお願い

支部だより発行、総会などの開催通知等は支部全会員に E-mail で配信しています。まだ登録されていない会員の方は、会員氏名・番号、E-mail アドレスをご登録いただくようお願いします。

登録は、住所変更届と同様に、「[会員登録情報の変更](#)」からのオンライン申請でお願いします。

■日本気象学会への入会案内

みなさまの周りに気象学を専攻している・気象関連の仕事をしている・気象に興味を持っているような方がいらっしゃいましたら、日本気象学会への入会をお勧めいただくようお願いします。支部事務局までご連絡いただければ、入会方法などご案内します。